



# 栃木県公共事業再評価 概要書

## 【県土整備部 道路事業】

事業名	快適で安全な道づくり事業
事業箇所	主要地方道 <small>かわまたおんせんかわじ</small> 川俣温泉川治線 日光市 <small>わかま</small> 若間地内 若間工区 L=2,500m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 道路整備課

# I 事業の概要

## 【目的】

主要地方道川俣温泉川治線は日光市川俣温泉と川治地区の国道121号を結ぶ幹線道路であり、地域住民にとっては代替路線のない唯一の生活道路であるとともに、奥鬼怒温泉郷等への観光道路としても利用されている重要な路線である。

本事業区間は、山間部の急峻な地形上に位置し、落石等の防災危険箇所（法面等を点検調査した結果、道路への落石等が発生する恐れのあるとした箇所）が多数存在し、過去には土砂崩れにより工区西側の集落が孤立する事態が発生している。また、現道は幅員が狭隘で屈曲箇所が多く、車両同士すれ違いにも困難をきたす状態となっている。

本事業により、狭隘な区間を拡幅するとともに、防災危険箇所を北側に迂回するトンネルを整備することで、通行止めによる孤立化の防止と、車両の円滑な通行を確保を図るものである。

## 事業位置



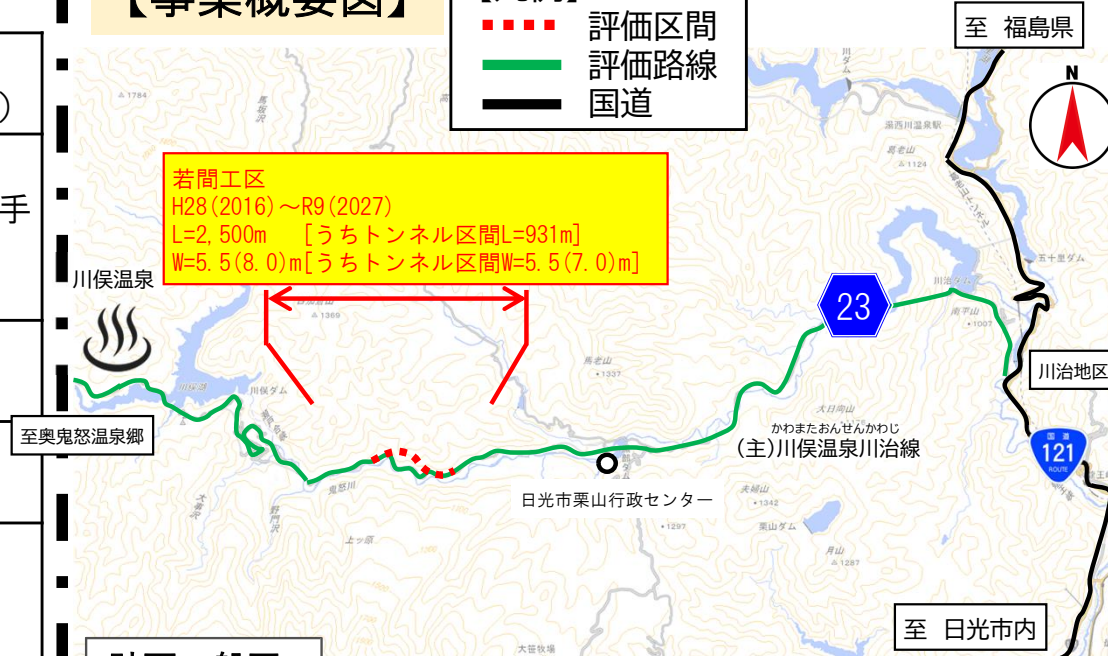
## 【現況】

目標事業期間 (変更前)	平成28(2016)年度～令和17(2035)年度 (平成28(2016)年度～令和 9(2027)年度)
事業経過	平成28(2016)年度 事業化 平成28(2016)年度 用地調査・取得等に着手 令和 2(2020)年度 工事着手 令和 7(2025)年度 再評価（今回）
全体事業費 [うち用地補償費]	81.0(41.0)億円 [ 1.5( 0.5)億円] ※( )は前回計画時
事業延長 [うち整備済延長]	L = 2,500m [L = 0m]
進捗率	基準年次：【令和 7 年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 10.7億円 13% [うち用地補償費 1.1億円 80%]

## 【事業概要図】

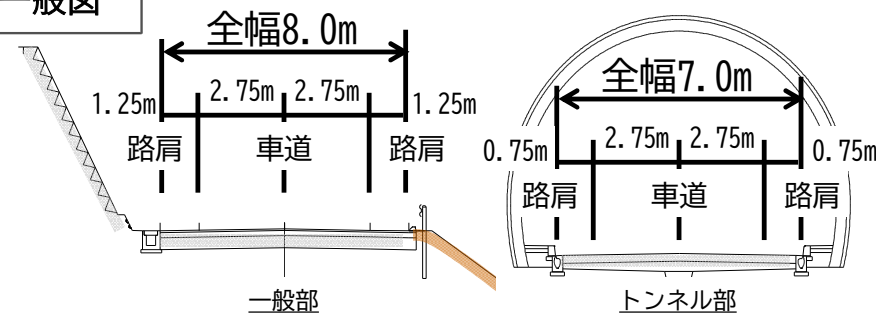
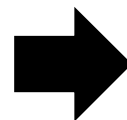
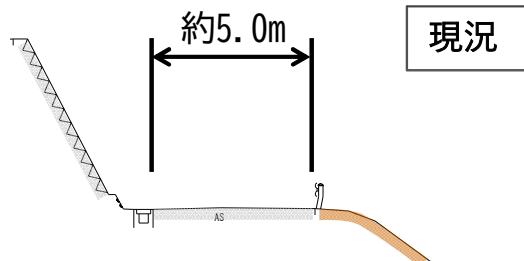
### 【凡例】

- 評価区間
- 評価路線
- 国道



## 計画一般図

## 【標準横断図】





# I 事業の概要

## 【事業内容】

### ■現況写真



### ■平面図

若間工区  
H28(2016)～R9(2027)  
L=2,500m [うちトンネル区間L=931m]  
W=5.5(8.0)m[うちトンネル区間W=5.5(7.0)m]



## II 事業の評価

### 【今後の事業進捗の見込み】

・ 事業期間の見直し  
令和9年度 ⇒ 令和17年度

・ 総事業費の見直し  
41億円 ⇒ 81億円

### 【全体事業費の見直し】

		前回計画 (H28年度)	今回計画
	事業費	41.0億円	⇒ 81.0億円 (+ 40.0億円)
内	工事費	40.5億円	⇒ 79.5億円 (+ 39.0億円)
訳	用地補償費	0.5億円	⇒ 1.5億円 (+ 1.0億円)

### 【事業の投資効果】

#### 1 費用対効果分析結果

	B / C	総便益 (B)	総費用 (C)
(1) 事業全体	局所的な防災対策事業のため対象外		
(2) 残事業			

#### 2 事業の整備効果等

・ 道路の拡幅や、落石等を迂回するトンネルの整備により、平常時、災害時を問わない安定的な輸送が確保されるため、緊急輸送道路としての機能が強化され、川俣温泉～川治地区の安全で円滑な交通が確保される。



## II 事業の評価

### 【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

#### 1 事業の進捗状況

・全体事業進捗率	13%
用地	80%
工事	12%

#### 2 今後の事業進捗の見込み

・用地買収を推進し、来年度のトンネル工事着手を目指す。併せて、工事を推進し、令和17年度を目標に事業完了を図る。



### 【コスト縮減等】

#### 1 コスト縮減方策

・再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。

#### 2 代替案立案等の可能性

・必要な事業用地は、現時点で80%取得済みであり、工事も一部実施していることから、代替案立案は困難である。

### 【事業の対応方針（案）】

本計画で事業を継続する。